

臨床研修群方式の推進への課題と論点（案）

各課題（枠内）は歯科医師臨床研修推進検討会報告書（平成 20 年 12 月 22 日）および医道審議会歯科医師分科会歯科医師臨床研修部会意見書（平成 21 年 2 月 2 日）による

課題 1

現在、歯科医業は歯科診療所を中心として行われていること、また全身管理に関連した歯科医業は病院歯科で多く行われていることから、今後の臨床研修制度を充実するためには、歯科診療所及び病院歯科（以下、「歯科診療所等」という。）をより活用した方策を検討すべきである。

- ・歯科診療所での研修期間が長い研修プログラムを増やすよう、提言してはどうか。
- ・歯科診療所が主体的に臨床研修に参加できるよう、管理型臨床研修施設として申請しやすい環境（手続きの簡素化など）を整備してはどうか。

募集定員の地域偏在と研修医の流れ

（平成18年度、平田ら、厚生労働科学特別研究事業、一部改変）

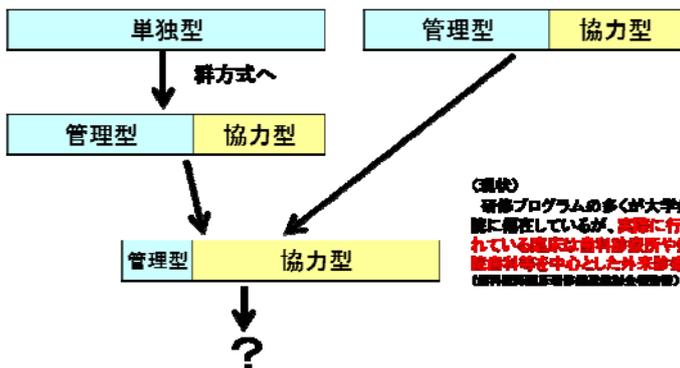
	プログラム別 募集定員	プログラム別 在籍者数	平均 在籍者数	
歯学部が所在する 都道府県	3,559	2,463	2,339	管理型と異なる都道府県 にある協力型施設に 研修歯科医が流れている
その他の都道府県	268	193	295	

歯学部のない都道府県での研修を
希望する研修歯科医がいるが、定員が少ない

群方式の推進 1

協力型での臨床研修の割合を多くする

研修プログラム内容を、外来診療中心に移行

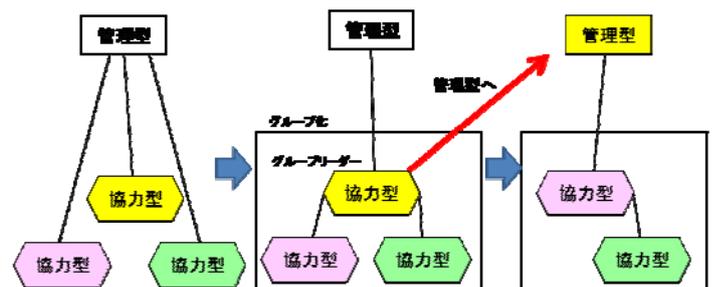


群方式の推進 2

管理型施設を増やす

研修プログラムの偏在解消

（現状）
研修プログラムの多くが大学病
院に存在しているが、実際に行わ
れている臨床は歯科診療所や病
院歯科等を中心とした外来診療
（歯科医師臨床研修推進検討会報告書）



課題 2

群方式の円滑な推進に係る手続き

…現在、群方式における管理型施設が行わなくてはならない事務手続き（年次報告、施設群の構成の変更等）には、煩雑な面が少なからずあることが指摘されている。従って、群方式の円滑な推進を図る観点からも、事務手続きに関する負担軽減を図ることが必要である。

- ・ 臨床研修施設の指定に必要とされる申請様式を簡素化してはどうか。
- ・ 過大な負担となっている管理型臨床研修施設の事務処理を、外部に委託できるようにしてはどうか。

